



for YZF-R25 (RG43J)

**ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！  
高性能カートリッジフォークへYZF-R25をアップグレード！**



TASC 内部イメージ  
(写真は MT-09)

**TASC for YAMAHA YZF-R25 (RG43J) '19- ¥132,000 (税込) TASCRCG43J**

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ¥7,800 (税抜上代)  
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール

## ノーマルフォークスペック

## TASC フォークスペック

ダンピング  
アジャスター  
非装備

ダンパー  
ロッド式

伸側  
ダンピング  
アジャスター

圧側  
ダンピング  
アジャスター

カート  
リッジ式  
高性能  
積層シム

専用  
フォーク  
スプリング

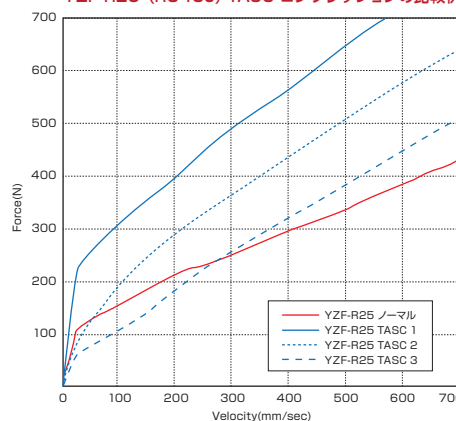
**よりシャープで軽やかなハンドリングに 狙ったラインを狙った通りに操る安心感を！**

新型になり倒立サスペンションを採用になったが、前モデルと同様に、減衰力調整、スプリングプリロード調整機能なく、カートリッジ式フォークではあるものの、片側のみにしかダンパー機能を持たないフォークを採用するYZF-R25 (RG43J)。倒立フォークになり剛性が出ているうえに、スプリングレートが高く、通常走行時のサスペンションの使用位置がストローク前半部なため、通常のブレーキングではサスペンションをストロークさせにくい。

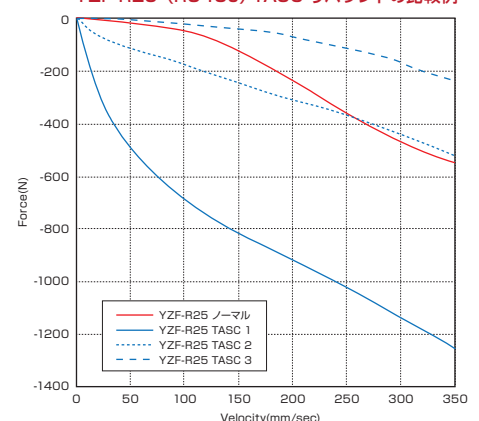


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

YZF-R25 (RG43J) TASC コンプレッションの比較例



YZF-R25 (RG43J) TASC リバウンドの比較例



### ストリートセット

低速域でのブレーキングでもしっかりとフロントフォークがストロークするようにセットアップ。尚且つ初期からしっかりと減衰を効かせ、急激にストロークすることを防ぎ、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸、圧とも減衰力を若干効かせ気味にセットアップ。

### ワインディングセット

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にコンプレッション・リバウンド共に強めにセットし、路面への接地感を上げる。ストローク中間域でも減衰をしっかり効かせ安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ

### サーキットセット

フルバンク状態でもフロントタイヤにしっかりと荷重を掛け、積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様。突き出し量を増やすことで応答性もよくなり、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。